ボーリング柱状図

調　査　名　県立広島大学三原キャンパス斜面補強事業に伴う測量・設計業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	1	3	3	4	0	6	4	0	0	2

シートNo.

ボーリング名	Bor2	調査位置	広島県三原市学園町1番1号	北緯	34° 23' 25.4084"	
発注機関	広島県東部建設事務所　三原支所	調査期間	平成29年12月 8日～平成29年12月11日	東経	133° 03' 24.6951"	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 24.88m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	30° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	5.00m								
試錐機	東邦地下工機D-0C	ハンマー落下用具	自動落下
エンジン	ヤンマーNFD12	ポンプ	東邦地下工機BG-3

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1	23.48	1.40	1.40		砂質土	褐灰	中くらい		未固結の砂質土。 砂分は細粒砂やや優勢。 細粒分が多く粘性を帯びる。 表層付近は植物根を含む。		
	23.28	0.20	1.60		泥岩				土砂状の強風化部。		
2	22.58	0.70	2.30		泥岩				風化部(軟岩相当)。 半固結した礫状コア主体で採取。		
3					泥岩	灰			泥岩の風化部(軟岩)。 岩片～短柱状コア主体で採取。 全体に酸化が進行し色調は褐色を帯びる。 深度3.2～3.7m間は、半固結した礫～岩片状を呈する。		
4											
5	19.88	2.70	5.00								12/9
6											
7											
8											
9											
10											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	2	4	9	15/30	15
1.45					
2.05	15	25	10/3	50/23	50以上
2.28					
3.20	25	25/5		50/15	50以上
3.35					
4.00	貫入不能			50/0	50以上
5.00	貫入不能			50/0	50以上

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日